

冬の寒さも和らぎ、花笑みの季節を迎え、やわらかな春の日差しが感じられる本日、ここに卒業の日を迎えることができ、卒業生一同大変嬉しく思っております。

新型コロナウイルス感染症の影響で中止が懸念された中、本日は、私たち現代生活学部現代家政学科、健康栄養学科、生活デザイン学科、児童学科および人間福祉学科第七回卒業生の為にこのような学位授与式を挙げて頂き、誠にありがとうございます。また、ご多忙にもかかわらずご列席いただきました先生方に卒業生一同、心から御礼申し上げます。

東京家政学院大学に入学してからの四年間はあっという間でした。この大学生活の中では、多くの事を学び、経験した日々でした。ここで学んだことは、これからの私たちにとって大きな自信につながるでしょう。その中でも、多くの友人たちと出会えたこと、共に勉学に励み、切磋琢磨しあえたことは何事にも代えがたく大切な日々であったと感じております。

大学入学時には、不安や緊張もありましたが、先生方、先輩方、友人に囲まれ、管理栄養士になるという目標を掲げ、日々勉強に取り組むことができました。大学での授業では、座学だけでなくグループワークや実習を通して積極的に学ぶ姿勢や自主性を身に付けることができました。

また、学内での授業だけでなく、学外での実習を通して管理栄養士の実践活動の現場における学修を経験することができました。ここでは、多様な対象への栄養管理の実践を深く学ぶことができ、その後の勉学に大きな影響を与えたと同時に、自分自身の未熟さを感じ、これからは、より多くの知識や技術を身に付けていかなければならないと改めて感じることで貴重な時間でした。

国家試験に向けての勉強では、焦りや不安を感じることもありましたが、先生方のサポートを得

て、友人たちと共に勉強し、合格に向けて最後まで諦めずにやり遂げることが出来ました。

そして今日、私たちは東京家政学院大学を卒業します。

大学生活で学んだ知識、経験と KVA 精神を活かし、新たな気持ちで、日々努力をし、社会の一員として、役割を果たし、貢献していきたいと決意しています。

このように有意義な大学生活を送ることができ、卒業の日を迎えることができたのも、先生方の丁寧なご指導のもと、ならびに、私たちが大学で学ぶにあたり支えてくださった大学職員の皆様、常に私たちを支え見守ってくれた家族のおかげと深く感謝しております。

また、相談に乗っていただき、励ましあいながら、共に勉学に励んだ友人たちにもとても感謝しております。この場をお借りして皆様に心より感謝申し上げます。

最後になりましたが、本日も多忙の中ご臨席下さいました先生方のご健勝とご多幸を、重ねて、在校生の皆様と東京家政学院大学のより一層の発展を心よりお祈り致しまして、謝辞とさせていただきます。

令和二年 三月十九日

東京家政学院大学

令和元年度卒業生総代

亀井 美奈